

年 組 名前:

地域課題解決へAI活用

新興企業代表ら「みらい社中」設立



来月、甲府で第1弾セミナー

県内のスタートアップ(新興企業)の代表らが、テクノロジーを使って地域課題の解決を目指す組織「山梨みらい社中」を設立した。人工知能(AI)や企業のデジタルトランスフォーメーション(DX)をテーマにしたセミナーを企画する予定で、第1弾を7月10日に開く。発起人の上原和也さんは「山梨の地域課題解決に向けて活動を続けたい」と話す。

三枝大悟

組織は4月に設立。甲府市に活動拠点があり、企業の採用業務の支援、代行業務「スタプロ」(東京)で最高経営責任者(CEO)を務める上原さんのほか、コワーキングスペース事業などの「トキョーサンマルナナ」(東京)社長で、東京と山梨で2拠点居住をしている八坂太洋さんが発起人を務める。

上原さんは「AIの活用やDX化を進めれば、人手不足を緩和できる県内企業は多いはずだが、知識が足りずに業務効率化の機会を損失しているケースがある」と問題意識を持っていて、セミナー開催に向けて打ち合わせをする山梨みらい社中のメンバー

甲府市朝日1丁目



申し込みフォームQRコード
申し込みフォームのQRコード

た。継続的にセミナーを開催するため、組織を設立することにしたという。組織は当面、AIを活用した企業のDX化推進に役立つセミナーなどを企画、開催する予定。テクノロジー利用により、人口減少などの地域課題の解決を目指す経営者らが参加するコミュニティ作りも目指す。初めてのセミナーはAIを活用した会計や労務の効率化がテーマ。家計簿や会計などのクラウドサービスアプリを手がける国内大手2社の幹部が講師を務める。ほかにも中国のIT企業の日本法人代表、国内IT企業の社長も講師として登壇する。会計や労務面でのAIの活用方法や、国内企業の導入例などを紹介する。

(2026年6月13日付 山梨日日新聞7面)

問1 県内のスタートアップの代表らは、なにを使って、なにを解決する組織を設立しましたか。

・なにを使って: ・なにを解決:

問2 組織は、なにに役立つセミナーを企画し開催する予定ですか。

.....

問3 あなたが生活している地域の課題を考え、自由に書き出してください。

.....

.....